

令和元年度 第4回 市長と語る車座ミーティング（意見交換概要）

【開催日時】 令和元年 11 月 6 日（水）午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

【開催場所】 東部人権啓発センター 3 階大会議室

【申込団体】 東御市女性団体連絡協議会

【参加者数】 22 名（市長、市職員を除く。）

【懇談テーマ】 プラスチックごみと市民病院について



※議事については、主な内容を抜粋して掲載しております。

個人のプライバシーに関する部分などについては、一部内容を割愛しております。また、意見交換の内容は開催日時点のものであり、現在の状況と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承ください。

【概要】

①プラスチックごみの削減について

（会員）

レジ袋を含めたプラスチックごみの削減について、11 月 1 日に政府が 2020 年 7 月までにレジ袋有料を決めているが、東御市としては、どのようにしていくのか。市では、独自の目

標を持つべきではないでしょうか。

(会員)

公の場所に給水湯器を設置してほしい。分解性のプラスチック袋は弱いので、丈夫なものにならないのでしょうか。キッサバで作っているインドネシアのレジ袋なども参考にしてほしい。

(市長)

地球の未来・子どもたちの将来のことである。生態系に与える影響をどのように少なくしていくか。この地域では、プラスチックごみを燃やすことを禁止しているので、燃やして燃料として使うことは難しい。マイバック持参運動を提唱して、一人ひとりができることをする。生分解性の袋に関しては、市が研究費を出して作るよりも企業の技術革新の方が進んでいる。市としてはそれらを検討し、選んでいきたい。

(生活環境課長)

プラスチックごみへの関心が高まっている中、ゴミの分別、レジ袋の削減を検討している。マイバック持参率は平均 60% である。プラスチックスマート運動、ゴミ分別を徹底して 80% を継続していきたい。給水湯器の設置は、各管理者に伝える。

(会員)

東御市は分別を良くしている。汚れたプラスチックの行き先はどこでしょうか。市内のイベントで、プラ袋、発泡スチロールの入れ物等を使用されているが、プラスチック削減をイベント・広報等で PR してほしい。

(生活環境課長)

東御市は、分別が進んでいる。廃棄物処理業者に、汚れたプラスチックを任せている。ひとつは、燃料として、ひとつは、容器への再活用です。イベントでのプラスチックごみの削減は、各実行委員会にお伝えし、検討していただくようお願いしたい。

②市民病院について

(市民病院事務長)

～市民病院と三才山病院・鹿教湯病院のその後について説明～

(会員)

再編計画が断念になり、残念です。市民の願い・思いはどこへ。これで終了してしまうのか心配です。

(会員)

9 月 27 日朝刊で再編について病院名が公表され、10 月 2 日病院再編案断念が報道されました。これから、地域医療への必要性が高まる中で、今後はどうするのか方針をお聞きしたい。

(会員)

医師会とは、連携していけないのでしょうか。これから市民病院は、なにを目指していくのでしょうか。

（市民病院事務長）

12 月号広報で、病院再編について掲載し、市民の皆様へお知らせしていきます。上小医療圏は、県が定めた病床数を既に上回っている。三才山・鹿教湯・市民病院 3 病院の再編については、調整会議で全員一致しないと、進まない。今回の再編は断念となりました。

（市長）

市民病院は、地域住民に一番に密着したプライマリケア・センターを目指している。また、地域住民と急性期大病院とを繋ぐ重要な連携機能の役割も果たしていきます。

（会員）

市長・事務長の説明は、よく分かりました。在宅医療・中間施設として、市民病院を存続させてほしい。

（会員）

リハビリの経験から、安曇野病院(自宅から 1 時間半)で手術後、市民病院でリハビリ(1 日 40 分間)をしています。リハビリの時間を多くしてほしい。高齢化していくので、リハビリの必要性が高まっています。「地域医療を考える会」第 4 月曜日 3～4 時福祉センターで開催しています。